

平成 28 年度 公益社団法人大気環境学会 事業報告  
(平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

### 1. 会員の状況

種 別	平成 28 年 6 月 30 日	種 別	平成 29 年 6 月 30 日	差引増減 (△)
正 会 員	901 名	正 会 員	881 名	△ 20 名
法人会員 A	143 名	法人会員 A	134 名	△9 名
法人会員 B	53 名	法人会員 B	51 名	△2 名
学生会員	52 名	学生会員	72 名	20 名
賛助会員	17 団体 (20 口)	賛助会員	16 団体 (19 口)	△1 団体 (1 口)

正会員数は、平成 27 年度は 31 名の減少であったが、平成 28 年度は 20 名の減少になった。

### 2. 年会報告

平成 28 年 9 月 7 日 (水) ～9 日 (金) に北海道・東北支部の担当で、札幌市北区の北海道大学工学部において、第 57 回大気環境学会年会を開催した。参加者数は、正会員 283 名、賛助会員 13 名、法人会員 A 7 名、法人会員 B 33 名、学生 66 名、非会員 47 名、計 449 名であり、機器展出展／カタログ出展企業数は 28 社であった。

総会、受賞記念講演、特別集会、分科会、機器展が開催された。一般研究発表は、口頭発表 162 件、ポスター発表 115 件、学生口頭発表 24 件、あわせて 301 件であった。また、機器展出展企業による技術セミナーを開催した。

### 3. 総会開催

平成 28 年 9 月 8 日 (木) 北海道大学工学部 オープンホールにて平成 28 年度総会を開催した。

#### 審議及び報告事項

1) 平成 27 年度事業報告、収支決算報告及び監査報告について

議長より質疑を求めた後、全員一致でこれを決議した。

2) 平成 28 年度事業計画及び収支予算について

定款第 35 条により、事業年度開始前の理事会において承認された平成 28 年度事業計画及び収支予算について報告した。

3) 大気環境学会役員を選任について

役員選挙結果の報告があり、以下の方が理事及び監事候補者として選出されたことが報告された。議長より質疑を求めた後、定款第 18 条第 3 項の規定に従い、候補者ごとに理事及び監事として選任する決議を行った。

選挙区	理事定数	氏名	所属
北海道・東北	2	村尾 直人	北海道大学
		渡邊 明	福島大学

関東	8	伊豆田 猛	東京農工大学
		大原 利眞	国立環境研究所
		内藤 季和	千葉県環境研究センター
		中井 里史	横浜国立大学
		新田 裕史	国立環境研究所
		畠山 史郎	埼玉県環境科学国際センター
		速水 洋	電力中央研究所
		松田 和秀	東京農工大学
中部	3	大泉 毅	新潟県保健環境科学研究所
		長田 和雄	名古屋大学
		皆巳 幸也	石川県立大学
近畿	3	板野 泰之	大阪市立環境科学研究所
		近藤 明	大阪大学
		島 正之	兵庫医科大学
中国・四国	2	大原 真由美	元広島県立総合技術研究所保健環境センター
		樋口 隆哉	山口大学
九州	2	岩本 真二	日本環境衛生センター 西日本支局
		鶴野 伊津志	九州大学

監事

東日本	1	野口 泉	北海道立総合研究機構
西日本	1	平木 隆年	ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター

4) 名誉会員の推戴について

若松会長より、井上堅太郎会員を名誉会員に推戴する旨の報告があり、承認された。

5) 第58回大気環境学会年会開催地について

第58回大気環境学会年会を兵庫県で開催し、会場を兵庫県内、年会長を兵庫医科大学教授の島正之会員とする計画が報告され、承認された。

6) 第59回大気環境学会年会開催地について

第59回大気環境学会年会を福岡県で開催し、会場を福岡県内、年会長を九州大学教授の鶴野伊津志会員とする計画が報告され、承認された。

7) その他

特に記載事項なし。

#### 4. 理事会等開催

##### (1) 理事会

1) 定例の会議を次のように開催した。

第1回：平成28年7月27日（メール審議）

審議内容：平成27年度事業報告・収支決算

第2回：平成28年9月6日（北大工学部）

審議内容：総会議題、第57回年会の開催準備、第58回、第59回年会の計画等

第3回：平成28年9月8日（北大工学部）

審議内容：大気環境学会役員の互選、各理事の役割等

第4回：平成29年5月30日（電力中央研究所）

審議内容：平成29年度事業計画及び収支予算、学会誌の電子ジャーナル化、事務局移転、60周年記念事業、規程の改定、第60回年会開催地等

2) 平成27年度事業報告及び収支決算の承認（第1回理事会）

それぞれ、原案の通り承認された。

3) 平成29年度事業計画及び収支予算の承認（第4回理事会）

それぞれ、原案の通り承認された。この結果を受け、平成29年6月23日に内閣府に事業計画書等を提出した。また、学会ホームページに掲載した。

##### (2) 常任理事会

1) 定例の会議を次のように開催した。

第1回：平成28年7月22日、第2回：平成28年11月4日、第3回：平成28年12月26日、第4回：平成29年3月29日、第5回：平成29年6月23日。第5回については、公益社団法人大気環境学会常任理事会に関する規程第6条第3項に基づく常任理事会の決議の省略の方法により、メール審議とした。また、適宜メール等により、必要事項を協議した。

2) 大気環境に関する調査及び研究事業の実施

###### ① 環境再生保全機構からの受託研究の実施（沿道PM<sub>2.5</sub>・ナノ粒子研究会）

平成26年度から、独立行政法人環境再生保全機構からの受託研究「道路沿道環境における微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）及びナノ粒子に及ぼす要因に関する調査研究」（平成26～28年度）を「沿道PM<sub>2.5</sub>・ナノ粒子研究会」が実施した。平成28年度の報告書を平成29年2月に提出した。

###### ② 環境省からの受託研究の実施（排出インベントリ研究会）

環境省から、国として整備すべき大気汚染物質排出インベントリのフレームワークについて検討し、とりまとめを行う業務として、「平成28年度大気汚染物質排出インベントリフレームワークの検討業務」を受託し、平成28年9月に報告した。

###### ③ 環境省からの受託研究の実施（ベーパーリターン研究会）

環境省から、VOCの排出抑制対策による光化学オキシダント等の低減効果に関する現在の科学的知見を取

集・整理することにより、VOC 対策をさらに推進するための根拠となる基礎資料を作成することを目的に、「平成 28 年度光化学オキシダント等に関する文献等調査業務」を受託し、平成 28 年 9 月に報告した。

### 3) 学会賞の選考について

学会賞選考委員会の報告を受け、原案の通り承認した。

### 4) 論文賞の選考について

論文賞選考委員会の報告を受け、原案の通り承認した。

### 5) 環境省との意見交換会

昨年度に引き続き、環境省水・大気環境局との意見交換会（平成 28 年 12 月 26 日）を行った。

### 6) 選挙管理委員長の選任について

関東支部選出の新田裕史理事を中央選挙管理委員会委員長に選任することが提案され、承認された。

### 7) 内閣府立入検査について

平成 29 年 3 月 14 日に内閣府による認定法第 27 条に基づく立入検査が実施され、大原会長、中井理事が同席した。理事会開催方法、規程類の整備等について講評及び指摘があり、第 4 回理事会において対応状況を報告し、承認を得た。

#### (3) 支部長会

平成 28 年 9 月 6 日、北大工学部にて開催し、各支部の報告が行われた。

## 5. 出版等

(1) 大気環境学会誌第 51 巻 4 号～第 52 巻 3 号の計 6 号を刊行した。

(2) 大気環境学会誌に掲載した入門講座シリーズ等をまとめて冊子化し、計 4 巻を刊行した。

また、平成 29 年 3 月より、Web 販売を開始した。

(3) 第 57 回大気環境学会年会講演要旨集を刊行した（年会事務局）。

(4) 日韓大気環境学会合同英文誌 AJAE (Asian Journal of Atmospheric Environment) Vol.10 No.3、No.4、Vol.11 No.1、No.2 を刊行した。

## 6. 委員会開催

### (1) 倫理委員会

第 57 回年会開催期間中の平成 28 年 9 月 7 日に倫理委員会を開催し、平成 27 年度活動報告や今後の課題について審議した。

### (2) 編集委員会（編集実務委員会）

#### 1) 定例の会議の開催

定例の会議を開催し、学会誌の編集企画を行い、合計 6 号（第 51 巻第 4 号～第 52 巻第 3 号）を刊行した。また、適宜メール審議により、必要事項を協議した。

第 1 回：平成 28 年 7 月 25 日、第 2 回：平成 28 年 9 月 9 日（兼平成 28 年度編集委員会）、第 3 回：平成 28 年 11 月 21 日、第 4 回：平成 29 年 1 月 27 日、第 5 回：平成 29 年 3 月 17 日、第 6 回：平成 29 年 5 月 18 日

#### 2) 論文審査

平成 28 年度の論文等の投稿は 23 本あり、内訳は、総説・研究論文（一般）20、学生・若手論文 2、記事（資

料) 1 であった。新規の投稿数は、ほぼ例年通りで推移している。総説・研究論文(原著、ノート、技術調査報告)のうち、審査が終了した 22 本中 10 本が「採用(要微修正)」、10 本が「採用(ただし条件付き)」、不採用が 2 本であった。

### 3) 入門講座等の掲載

- ① 入門講座「大気環境と植物」シリーズ(第 2 講: 第 51 巻第 4 号から第 5 講: 第 52 巻第 1 号)
- ② 入門講座「大気環境モニタリング」シリーズ(第 52 巻第 3 号~第 53 巻第 1 号予定)
- ③ 大気環境行政の解説(第 52 巻第 1 号環境省、第 52 巻第 2 号千葉県)
- ④ 支部だより、分科会だより、行政だより、研究室紹介を毎号掲載した。

### 4) 入門講座・解説の冊子化

大気環境学会誌第 44 巻から開始した入門講座・解説を冊子化するとともに、ダウンロード販売を開始した。

### 5) J-stage アクセスランキング

J-stage データを解析し、ホームページ上に J-stage アクセスランキングをアップした。

#### (3) 国際交流委員会

- 1) 第 57 回年会開催期間中の平成 28 年 9 月 7 日に、韓国大気環境学会および中国環境科学学会大気分会との学術交流のこれまでの経緯について情報を共有し、今後の方針について審議した。
- 2) 平成 28 年 10 月 21 日~23 日の間、上海にて開催された中国環境科学学会大気分会年會に、早川前副会長(国際交流委員長)と松田前 AJAE 委員長が出席した。学術交流活動の一環として国際セッションにおいて研究発表を行うとともに、日中韓の学会代表者による意見交換会を行った。平成 29 年 9 月開催予定の第 58 回年会(神戸)において、韓国大気環境学会および中国環境科学学会大気分会の研究者を招待して国際シンポジウムを開催する意向を伝えた。

#### (4) 学会賞選考委員会

平成 29 年 5 月 31 日を締め切りとして、平成 28 年度の大気環境学会賞の公募を行なった。平成 29 年 6 月 5 日、大気環境学会賞の各賞の選考を行なった。この結果を、常任理事会に報告した。

#### (5) 論文賞選考委員会

##### 1) 論文賞の選考対象論文

大気環境学会誌第 51 巻および AJAE 第 10 巻に掲載された論文とした(全 26 編)。編集委員による推薦(一次評価)と論文賞選考委員会における選考(二次評価)の二段階選考とした。

##### 2) 論文賞の選考

一次、二次評価を受けて、論文賞選考委員会(平成 29 年 6 月 15 日)を開催し、大気環境学会論文賞の選考を行い、最優秀論文賞 1 編、論文賞 1 編(技術調査部門)、学生・若手部門 1 編を論文賞候補として、常任理事会に推薦した。

#### (6) 広報委員会

##### 1) 活動状況

###### ① 学会ホームページのメンテナンス

昨年度にリニューアルした学会ホームページを学会事務局と共に適時、更新するとともにバナー広告の募集、掲載を開始した。

## ② ポスター「大気環境学会のご案内」の更新

学会誌第52巻の表紙に合わせて、大気環境学会ポスターを更新した。

## ③ 第30回環境工学連合講演会（日本学術会議主催）への参画

例年通り、日本学術会議主催の講演会において、学会を代表して藤谷雄二会員が講演した。

- ・ 平成29年5月23日（火）（日本学術会議講堂）、総合テーマ「気候変動における環境工学の貢献 ～緩和と適応～」
- ・ 藤谷雄二会員の講演「PM<sub>2.5</sub>の大気環境問題」

## 2) 委員会開催

第57回年会開催期間中の平成28年9月7日に、広報委員会を開催した。

### (7) 選挙管理委員会

平成28年度役員（理事・監事）選挙を行った（平成28年6月20日告示、7月11日までに投票）。開票結果の確定を平成28年8月3日に行い、理事及び監事候補の選出結果を、平成28年9月6日の理事会及び平成28年9月8日の総会において報告した。

### (8) 企画運営委員会・産官学民連絡協議会

① 「ドローンを用いた大気環境研究の最前線と大空ビジネス：講演と展示」を、平成28年8月29日、早稲田大学西早稲田キャンパスで開催した。

② 近畿支部が主催し、国交省などが後援する船舶排出規制をテーマとするシンポジウム（平成29年7月15日、大阪市）を共催することとした。

### (9) AJAE 委員会

第57回年会開催期間中の平成28年9月7日にAJAE委員会を開催した。

韓国大気環境学会と協力して、AJAE(Asian Journal of Atmospheric Environment) Vol. 10 No. 3, No. 4, Vol. 11 No. 1, No. 2を発行した。AJAE掲載論文への論文種別（Research Articles と Technical Information）を明記することとした。また、大気環境学会誌52巻第2号「あおぞら」に、奥田委員長がAJAEの現状の紹介ならびにAJAEへの投稿およびAJAE論文の引用の呼びかけを行った。

## 7. 支部報告

### (1) 北海道・東北支部

支部総会、支部学会等の開催

平成28年10月21日（山形テルサ）、支部総会、幹事会を併催。

- ・ 支部総会：平成27年度支部活動報告及び決算報告、平成28年度支部活動方針及び予算案を諮り、承認を得た。
- ・ 支部学会：一般研究19題に加え、高校生のポスター8題の発表があり、また、東北大学 工藤 純一教授から「東北大学の衛星画像データベースについて」と題した特別講演をいただいた。

### (2) 関東支部

#### 1) 支部総会、講演会の開催

平成29年6月2日（金）（ムーブ町屋 ムーブホール）

・ 支部総会：平成 28 年度支部・部会活動報告、平成 28 年度中間会計報告、監査報告、平成 29 年度活動計画案、平成 29 年度予算案、参加者：225 名（内委任状 161 名）

・ 関東支部講演会の開催（共催：全国環境研協議会、後援：九都県市首脳会議）

・ 参加者 128 名

テーマ： 「関東地方における大気環境政策の現状と課題」

- ① 埼玉県における温暖化影響と適応策への取組／嶋田知英（埼玉県環境科学国際センター）
- ② 次世代自動車・スマートエネルギー特区整備事業について／金澤哲郎（さいたま市環境未来都市推進課）
- ③ 花火・ヨシ焼きによる汚染影響について／飯島史周（栃木県保健環境センター）
- ④ 有機マーカに着目した PM<sub>2.5</sub> の動態把握と発生源寄与評価／熊谷貴美代（群馬県衛生環境研究所）
- ⑤ PM<sub>2.5</sub> 成分の特別観測による高濃度化現象の要因解析／齊藤伸治（東京都環境科学研究所）
- ⑥ 神奈川県におけるシミュレーションモデルを用いた PM<sub>2.5</sub> の発生源解析／小松宏昭（神奈川県環境科学センター）
- ⑦ 千葉県における PM<sub>2.5</sub> 対策検討調査／内藤季和（千葉県環境研究センター）
- ⑧ 大気環境学会からのコメント～大気環境学会と自治体との協働をどう進めるか／大原利眞（国立環境研究所、大気環境学会長）

2) 支部役員会：第 1 回（平成 28 年 11 月 4 日）、第 2 回（平成 29 年 1 月 6 日）、第 3 回役員会（平成 29 年 3 月 29 日）、第 4 回（平成 29 年 5 月 19 日）

3) 部会活動報告

酸性雨、植物影響、粒子状物質の各部会で講演会等を開催した。

(3) 中部支部

1) 総会・評議員会の開催：平成 29 年 6 月 4 日（日）（石川四高記念文化交流館）

・ 評議員会：支部総会へ提出する議題について協議

・ 支部総会：平成 27 年度の事業報告・決算報告・会計監査報告、平成 28 年度事業経過報告・決算見込み、平成 29 年度事業計画・予算案

2) 講演会：平成 29 年 6 月 4 日（日）（石川四高記念文化交流館）

テーマ「石川の雪 - 白山と金沢で見えること -」：講演 2 題、参加者 19 名

(4) 近畿支部

1) 第 43 回近畿支部総会・シンポジウム

平成 28 年 7 月 19 日（火）（大阪府環境情報プラザ）

総会：平成 27 年度事業・収支決算報告、部会および学術委員会報告、平成 28 年度計画

シンポジウム「大気への VOC 排出の削減への取り組み」

- ① 船舶からの VOC 規制排出実態とその対策の現状について 講師：華山伸一（日本海事協会）
- ② 塗料からの VOC 排出削減の現状について 講師：鈴木譲（日本塗料工業会）
- ③ ガソリンペーパーの発生と回収技術 講師：本橋俊明

参加者 37 名（講演者 3 名、会員 29 名、一般 5 名）

2) 理事会・運営幹事会：第1回（平成28年7月19日）、第2回（平成29年1月30日）

3) 学術委員会発表会、部会講演会

- ① 学術委員会研究発表会：平成28年12月27日、大阪府大 I-site なんば、一般発表15題、特別講演1題、参加者36名
- ② 人体影響部会セミナー「浮遊微小粒子の成分組成と健康影響」：平成28年8月30日、大阪府環境情報プラザ、講演3題、参加者19名
- ③ 反応と測定部会講演会「黄砂の関わる物理・化学過程」：平成28年12月6日、大阪府大 I-site なんば、講演2題、参加者22名
- ④ エアロゾル部会セミナー「国内発生源の影響」：平成29年3月3日、兵庫県立工業技術センター技術交流館、講演4題、参加者79名
- ⑤ 植物影響部会講演会：平成29年5月12日、大阪府大 I-site なんば、講演2題、参加者9名
- ⑥ 気象拡散部会講演会「気象拡散」：平成29年5月16日、大阪府大 I-site なんば、講演3題、参加者26名

(5) 中国・四国支部

1) 支部総会

平成29年5月19日（金）（あわぎんホール）

- ・ 平成28年度決算報告及び平成29年度の計画及び予算案

2) 大気、水、廃棄物、3学会支部合同講演会（公開講演会）

平成29年5月19日（金）（あわぎんホール）

テーマ「持続可能な社会へ向けての取り組み」

- ① 「社会実験結果からみた地方都市における持続可能な社会に向けての課題—徳島県で実施したモーダルシフト社会実験を中心に—」、加藤研二（阿南工業高等専門学校）
- ② 「回転円板型促進酸化装置を用いた水中のサルファ系抗菌剤の除去」、深堀秀史（愛媛大学）
- ③ 「広島県における使用済み紙おむつの排出状況と今後の課題」、崎田省吾（県立広島大学）

(6) 九州支部

1) 支部総会、役員会の開催

平成29年1月27日（九大病院）

- ・ 平成27年度事業実施報告及び収支決算報告、平成28年度事業計画（案）及び予算（案）について

2) 支部講演会の開催（一般向け）

平成29年1月27日（九大病院）、講演3件、参加者62名（内、非会員28名）

3) 支部研究発表会の開催

平成29年1月27日（九大病院）、講演9件（大気環境5件、室内環境4件）、参加者54名（内、非会員20名）

4) 九州大学応用力学研究所、国立環境研究所と共催

平成28年12月2～3日（九州大学）、講演18件、参加者42名

テーマ「アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会」

## 8. 分科会等報告

### (1) 植物分科会

- 1) 年会分科会：平成 28 年 9 月 7 日（第 57 回大気環境学会年会、北海道大学工学部）  
テーマ：「森林における CO<sub>2</sub> 固定とオゾンの影響」、講演 2 件、参加者 28 名
- 2) 全国規模の講演会（シンポジウム）（日本学術会議主催のシンポジウムに共催として参加）  
平成 28 年 11 月 8 日（火）、日本学術会議講堂  
シンポジウム名「越境大気汚染と酸性雨－現場から将来予測まで－」、講演 6 件、参加者 114 名
- 3) 世話人会議  
平成 28 年 9 月 2 日、平成 28 年 12 月 16 日、平成 29 年 4 月 27 日の計 3 回

### (2) 都市大気環境モデリング分科会

- 1) 年会分科会：平成 28 年 9 月 7 日（第 57 回大気環境学会年会、北海道大学工学部）  
テーマ「大気質シミュレーションの環境政策への適用に向けて ～光化学オキシダントモデルの現状と課題～」
- 2) 共催：平成 28 年 12 月 2～3 日  
九州大学応用力学研究所研究集会「アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会」

### (3) 酸性雨分科会

- 1) 年会分科会：平成28年9月7日（第57回大気環境学会年会、北海道大学工学部）  
テーマ：「広域大気汚染影響評価におけるリモートセンシングの活用」、講演3件、参加者43名
- 2) 東京講演会（共催、関東支部酸性雨部会主催）：平成29年2月23日（東京農工大学 府中キャンパス）  
テーマ：「反応性窒素の大気沈着について考える」、講演3件、参加者40名
- 3) 大阪講演会（共催、全環研東海・近畿・北陸支部主催、酸性雨研究会共催）：平成28年12月20日（エクスィブ琵琶湖）講演4件、参加者22名
- 4) 日本学術会議 公開シンポジウムの開催（共催、(1)に記載のとおり）
- 5) メールニュースの発行（25回発行、メール会員217人）

### (4) 環境大気モニタリング分科会

- 1) 年会分科会（第 39 回研究会）：平成 28 年 9 月 7 日（第 57 回大気環境学会年会、北海道大学工学部）  
テーマ「光化学大気汚染対策における VOC の役割」、講演 3 件
- 2) 第 40 回研究会：平成 29 年 3 月 10 日（江東区文化センター）、参加者 63 名  
テーマ「光化学大気汚染の近年の動向」
  - ① 最近の光化学大気汚染について／船越吾朗（環境省水・大気環境局大気環境課）
  - ② 平成 28 年度夏季の事例発表
    - ・東京都の事例／飯村文成（東京都環境局大気保全課）
    - ・千葉県の事例／浅川達志（千葉県大気保全課）
    - ・埼玉県の事例／萩原義久（埼玉県大気環境課）
  - ③ 関東平野の夏季光化学大気汚染の動向と気候影響／吉門洋（日本気象協会）

④ 飛行機、島嶼、高山山上で測った越境大気汚染－エアロゾルとオゾン－／畠山史郎（埼玉県環境科学国際センター）

3) 幹事会：平成 28 年 9 月 13 日、平成 28 年 11 月 21 日

(5) 健康影響分科会

1) 年会分科会：平成 28 年 9 月 7 日（第 57 回大気環境学会年会、北海道大学）

テーマ「曝露評価のため大気汚染物質モデル活用」、講演 3 件、参加者約 40 名

(6) 自動車環境分科会

1) 年会分科会：平成 28 年 9 月 7 日（第 57 回大気環境学会年会、北海道大学）

テーマ「沿道大気汚染の現状－PM 成分にも注目して－」、講演 4 件、参加者 53 名

2) 自動車環境分科会セミナー「自動車ブレーキ粉じんと計測手法」

平成 28 年 11 月 9 日（東京貨物運送厚生年金基金会館）、講演 3 件、参加者 50 名

(7) 室内環境分科会

1) 年会分科会：平成 28 年 9 月 7 日（第 57 回大気環境学会年会、北海道大学）

テーマ「寒冷地における室内空気質－これからの室内汚染対策のためのベストミックス－」、講演 2 件、参加者 17 名

(8) 放射性物質動態分科会

1) 年会特別集会：平成28年9月8日（第57回大気環境学会年会、北海道大学）

テーマ「原子力防災と大気環境研究の接点を探る」、講演4件、参加者約40名

2) 幹事会：平成28年9月8日

3) 報告等

第57回年会特別集会 2 報告「原子力防災と大気環境研究の接点を探る」、大気環境学会誌第51巻第6号

福島原発事故に対する各学会の取組み「大気環境学会の取組み」、日本原子力学会誌第59巻第4号

(9) 臭気環境分科会

1) 年会分科会：平成 28 年 9 月 7 日（第 57 回大気環境学会年会、北海道大学）

テーマ：「臭気に関する最近の話題－札幌市の臭気規制とでんぷん工場排水臭気、畜産臭気について－」、講演 3 件、参加者 15 名

(10) 都市大気エアロゾル分科会

1) 年会分科会：平成 28 年 9 月 7 日（第 57 回大気環境学会年会、北海道大学工学部）、自動車環境分科会と共催

テーマ「沿道大気汚染の現状－PM 成分にも注目して－」講演 4 件、参加者 53 名

2) 研究セミナー（日本エアロゾル学会（PM<sub>2.5</sub>の化学特性に関する研究会）主催、大気環境学会近畿支部エアロゾル部会との共催）、平成 29 年 3 月 3 日（兵庫県環境研究センター）

テーマ「国内発生源の影響」、講演 4 件、参加者 79 名

(11) 沿道 PM<sub>2.5</sub>・ナノ粒子研究会

(独)環境再生保全機構からの受託業務として、「道路沿道環境における微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）及びナノ粒子に及ぼす要因に関する調査研究」（平成 26 年度～28 年度）を実施した。

平成 28 年度の研究成果の概要は、以下の通り。

1) 研究内容

① 道路沿道における PM<sub>2.5</sub> 等に及ぼす要因解析

川崎市川崎臨港警察署前交差点を中心に通年観測と夏季集中観測を行った。

② 自動車からの PM<sub>2.5</sub> 排出量推計

ガソリン車からの PM<sub>2.5</sub> 排出量推計、排出量推計手法の検討、自動車からの PM<sub>2.5</sub> 排出量推計について検討した。

2) 成果の発表等

① 環境改善調査研究成果発表会において概要を発表：平成 29 年 3 月 7 日

② 第 57 回大気環境学会年会自動車環境分科会集会において概要を発表：平成 28 年 9 月 7 日

3) 委員会等を 5 回開催した。

(1 2) 排出インベントリ研究会

平成 28 年度に環境省から受託した「平成 28 年度大気汚染物質排出インベントリフレームワークの検討業務」を実施し、平成 28 年 9 月に報告書を提出した。

(1 3) ペーパーリターン研究会

平成 28 年度に環境省から受託した「平成 28 年度光化学オキシダント等に関する文献等調査業務」を実施し、平成 28 年 9 月に報告書を提出した。

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

平成29年9月

公益社団法人 大気環境学会